

いばらきネットモニター

「あいさつ・声かけ運動」・「親が変われば子どもも変わる」運動」の認知度調査

1 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：平成30年11月30日(金)～平成30年12月12日(水)まで

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

いばらきネットモニター数：421名（県内モニターのみ）

回収率：46.1%（回収数194名）

回答者の属性（百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある）

		人数（人）	比率（%）
全体		194	100.0
性別	男性	100	51.5
	女性	94	48.5
地域別	県北	22	11.3
	県央	66	34.0
	鹿行	12	6.2
	県南	67	34.5
	県西	27	13.9
年齢	10歳代	0	0.0
	20歳代	7	3.6
	30歳代	26	13.4
	40歳代	48	24.7
	50歳代	52	26.8
	60歳代	29	14.9
	70歳以上	32	16.5
職業別	自営業	11	5.7
	会社員	64	33.0
	団体職員	6	3.1
	公務員	4	2.1
	主婦・主夫	48	24.7
	学生	2	1.0
	無職	38	19.6
	その他	21	10.8

(2) 調査目的

県では、青少年が心身ともに健やかに自立した個人として成長し、若者が地域社会の一員としていきいきと活躍できる社会を実現するため、平成28年3月に「いばらき青少年・若者プラン（第2次）」（平成28年度～平成32年度）を策定しました。

このアンケートは、「いばらき青少年・若者プラン（第2次）」に定める指標項目について、本年度の数値を確認するため実施するものです。

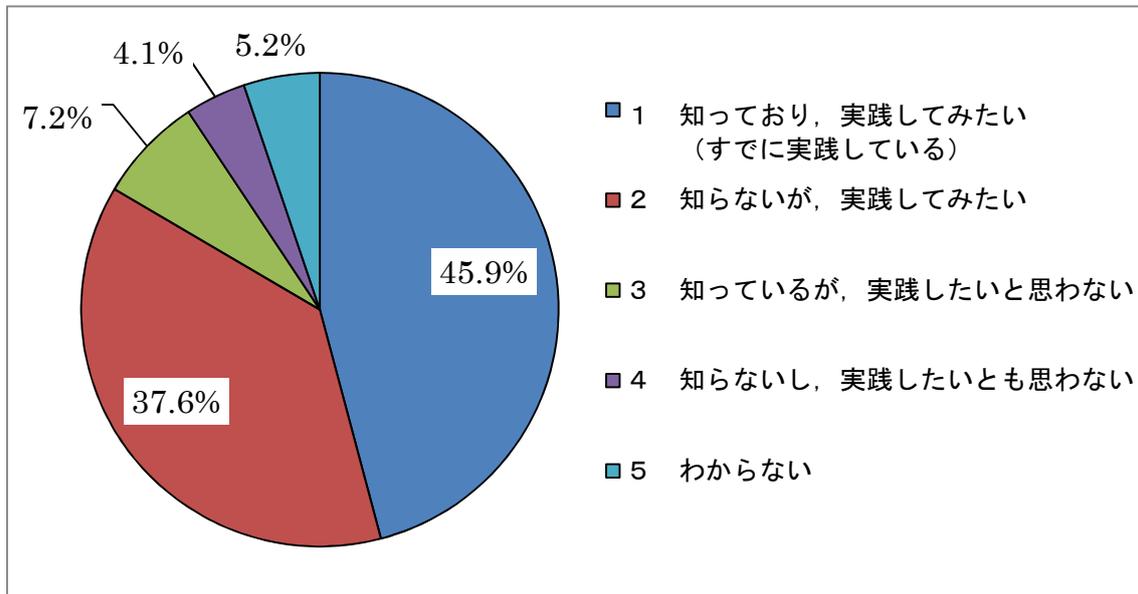
【担当課】 茨城県保健福祉部子ども政策局青少年家庭課（青少年担当）

電話：029-301-2183 E-mail：seishonen@pref.ibaraki.lg.jp

2 調査結果及び考察

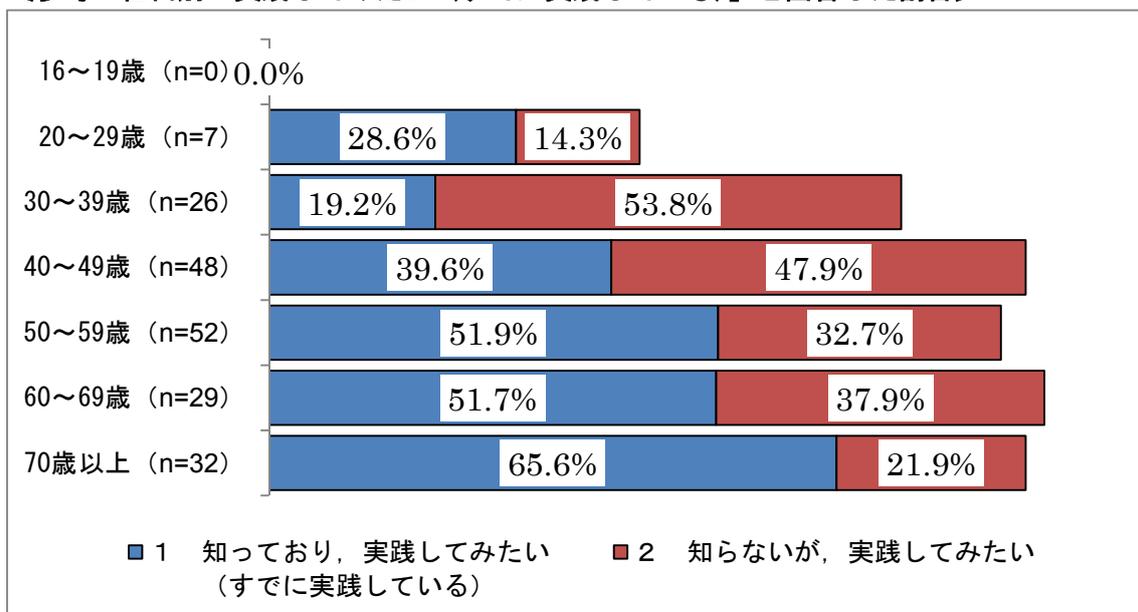
2-1 「あいさつ・声かけ運動」について

【問1】あなたは、地域コミュニティの再生と青少年の健全育成を目的に、家庭、学校、企業、地域において、あいさつ・声かけの実践をよびかける「あいさつ・声かけ運動」を知っていますか。次の中から1つ選んでください。(n=194)



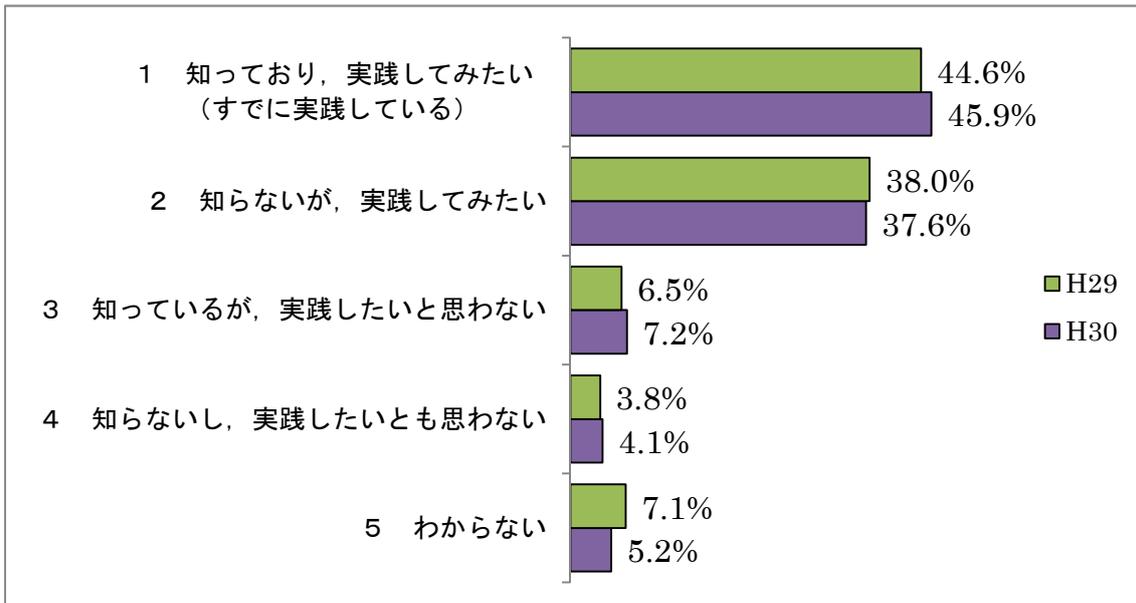
- 「あいさつ・声かけ運動」について、53.1%が「知っている」(選択肢1と3の合計)と回答している。
- また、運動を「実践してみたい(すでに実践している)」(選択肢1と2の合計)と考えている割合は、83.5%である。

【参考：世代別「実践してみたい(すでに実践している)」と回答した割合】



- 運動を「実践してみたい(すでに実践している)」と回答した割合を世代別にみると、30歳代以上の世代において、「実践してみたい(すでに実践している)」と回答した割合が高くなっている。

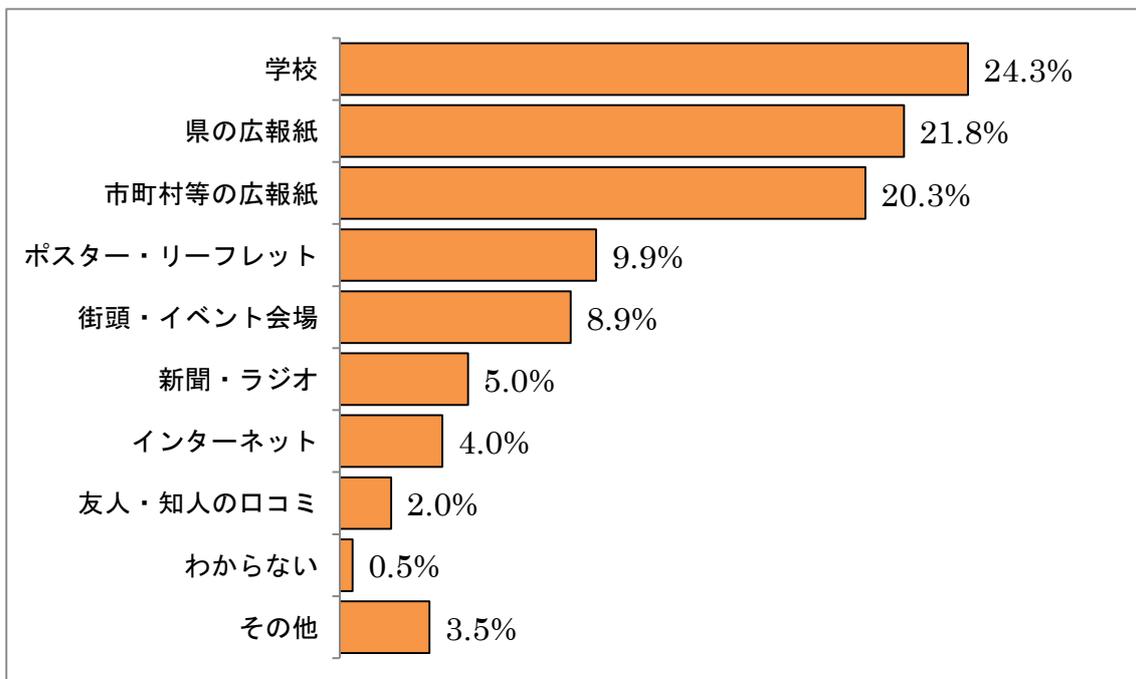
〔参考：平成 29 年度 調査結果との比較〕



- 前年度の調査結果と比較すると、運動を「知っている」（選択肢 1 と 3 の合計）と回答した割合は、51.1%から 53.1%に増加している。
- また、「実践してみたい（すでに実践している）」（選択肢 1 と 2 の合計）と回答した割合も、82.6%から 83.5%となり増加している。

【問 2】（問 1 で、「1 知っており、実践してみたい（している）」「3 知っているが、実践したいと思わない」を選択した方のみお伺いします。）

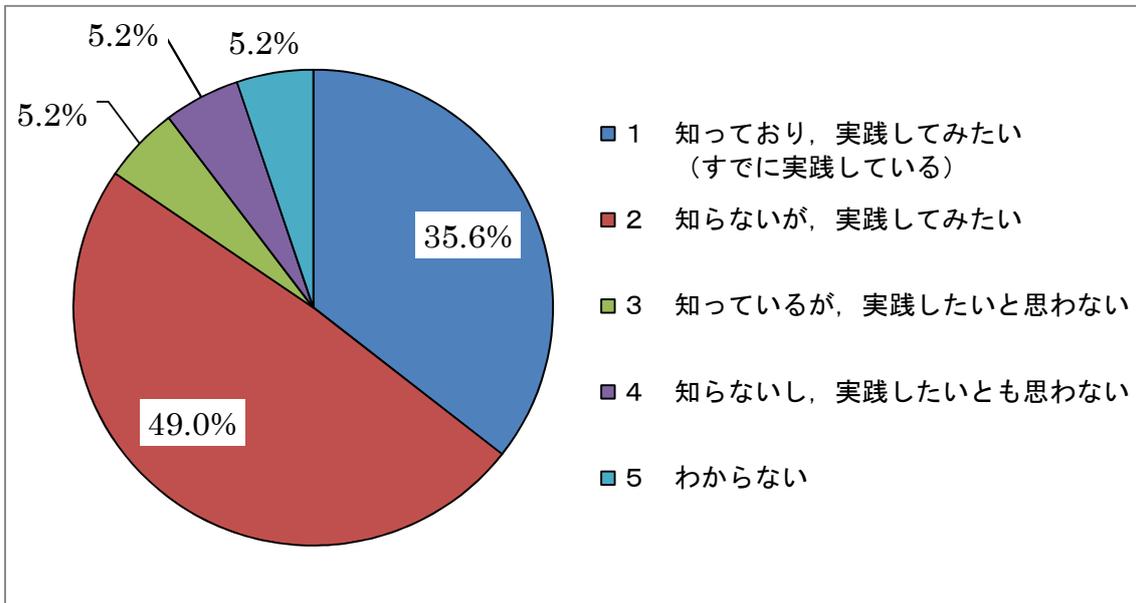
あなたは、「あいさつ・声かけ運動」を、どこで知りましたか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答可）



- 認知経路で最も多い回答は「学校」の 24.3%であり、次いで県の広報紙（21.8%）、市町村等の広報紙（20.3%）が多くなっている。

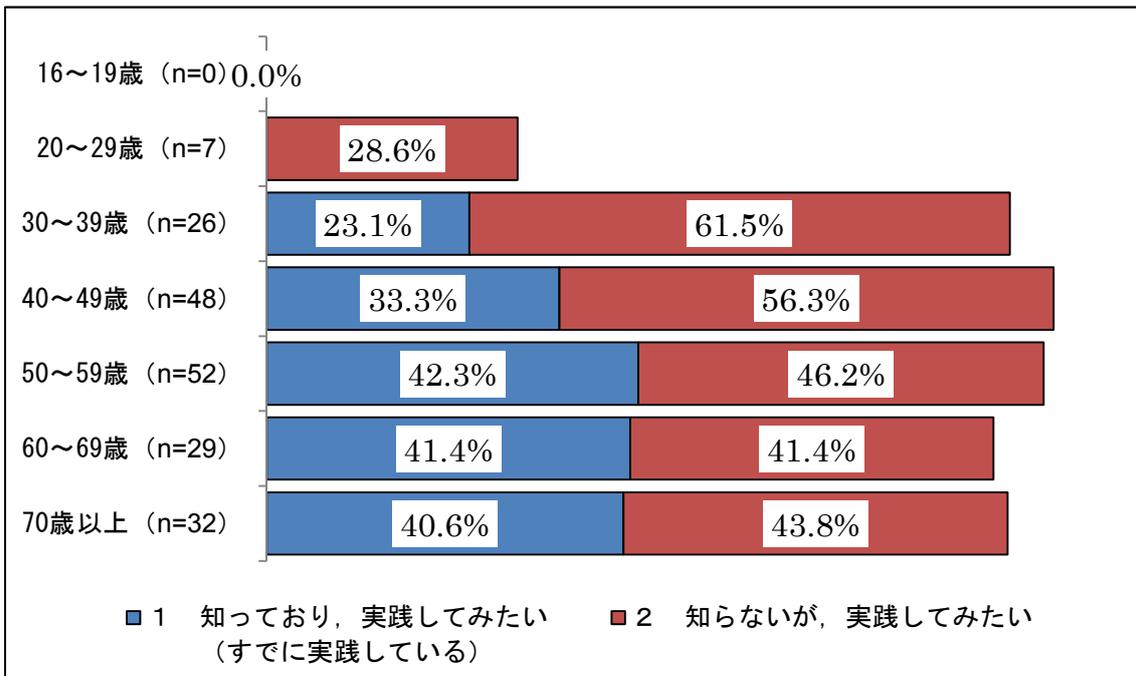
2-2 「親が変われば、子どもも変わる」運動について

【問3】あなたは、青少年のよい手本となるよう、親や大人が改めて自らを振り返り、姿勢を正していくことを呼びかける「親が変われば、子どもも変わる」運動を知っていますか。次の中から1つ選んでください。(n=194)



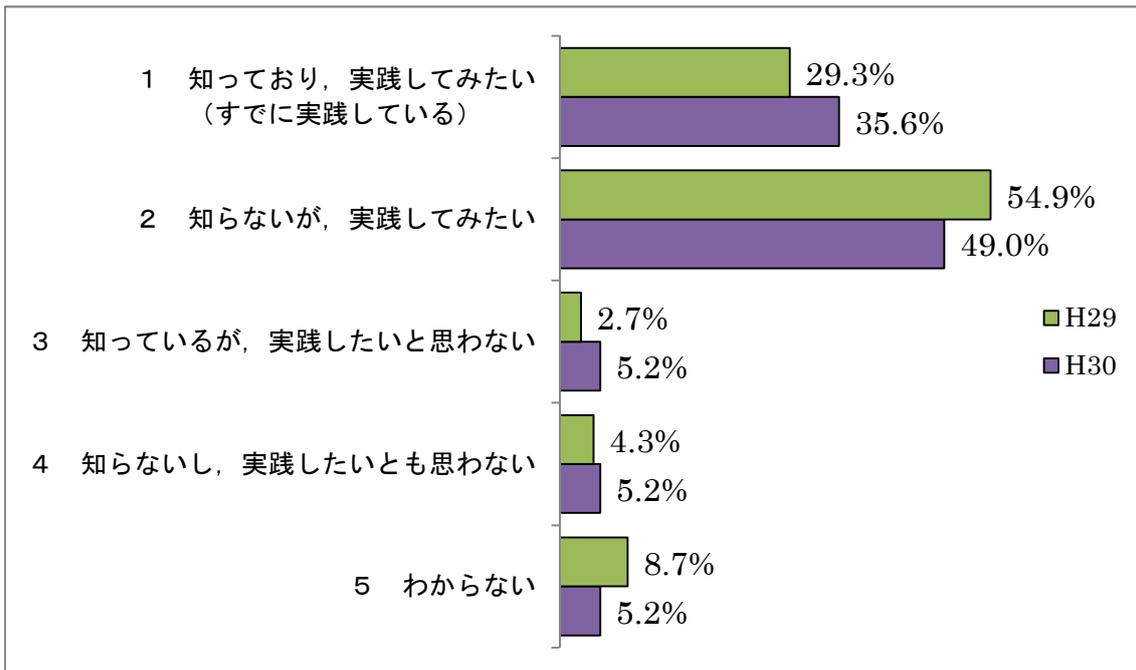
- 「親が変われば、子どもも変わる」運動について、40.8%が「知っている」（選択肢1と3の合計）と回答している。
- また、運動を「実践してみたい（すでに実践している）」（選択肢1と2の合計）と考えている割合は、84.6%である。

【世代別「実践してみたい（すでに実践している）」と回答した割合】



- 運動を「実践してみたい（すでに実践している）」と回答した割合を世代別にみると、30歳以上の世代において、「実践してみたい（すでにしている）」と回答した割合が高くなっている。

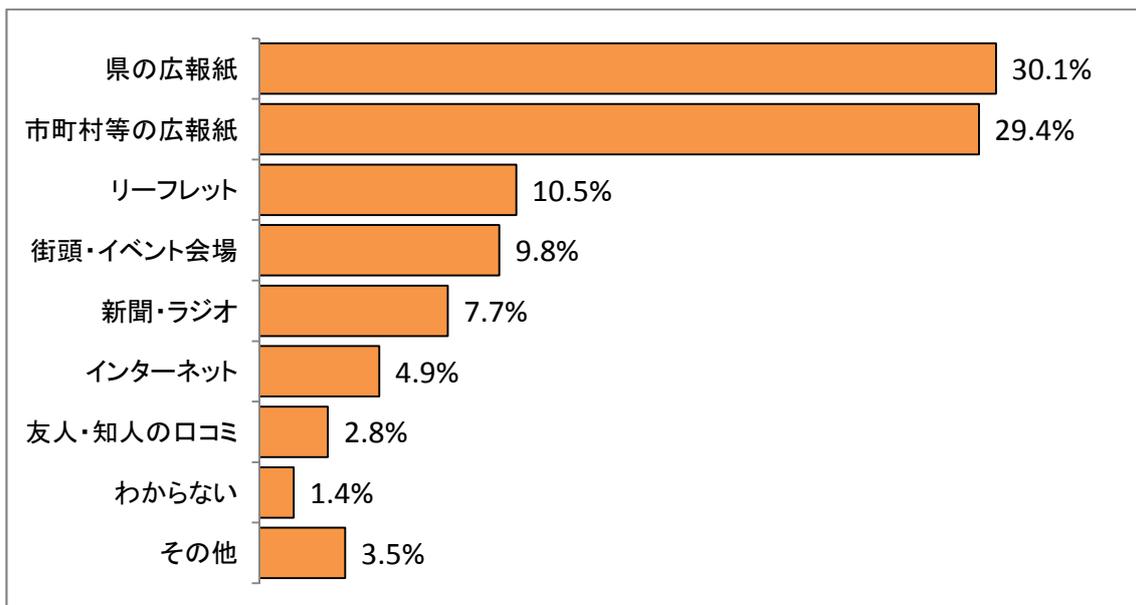
〔参考：平成 29 年度 調査結果との比較〕



- 前年度の調査結果と比較すると、運動を「知っている」（選択肢 1 と 3 の合計）と回答した割合は、32.0%から 40.8%に増加している。
- また、「実践してみたい（すでに実践している）」（選択肢 1 と 2 の合計）と回答した割合も、84.2%から 84.6%となり増加している。

【問 4】（問 3 で、「1 知っており、実践してみたい（している）」「3 知っているが、実践したいと思わない」と選択した方のみお伺いします。）

あなたは、「親が変われば、子どもも変わる」運動」を、どこで知りましたか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答可）



- 認知経路は、県の広報紙（30.1%）や市町村等の広報紙（29.4%）が多く、次いでリーフレット（10.5%）や街頭・イベント会場（9.8%）となっている。